

ごあいさつ

本学附属図書館工学分館が2018年4月1日に40周年を迎えましたこと、工学分館長として心より御祝い申し上げます。本が大好きという訳でもない筆者が、工学分館長として40周年を迎えるのは、「神様のいたずら」としか言いようがありませんが、工学分館長としてこの記念すべき年を迎えられたことは誠に光栄に存じます。

筆者が本学工学部資源工学科の学生であった頃には、現在の環境科学研究科研究棟の2階に図書室があり、そこに教科書を借りに行ったり、保管されていた先輩方の卒論を読みに行ったりしていましたが、工学分館が設置されたのを機に、資源工学科の図書や卒論等が工学分館に移行し、学科の図書室が無くなったことを記憶しております。40年後に自分が工学分館長として分館の運営に携わるとは想像すらしておりませんでした。学科の図書室が工学分館に移行してから40年も経過したのかと思うと、時の流れの速さを感じるとともに、非常に感慨深いものがあります。

工学分館は、学生の学習の場のみならず、多くの専門誌を揃え、教職員の研究活動にも欠かせない場所となっております。しかし、40年も経過すると所々に傷みが生じて来ており、また設備も古くなっていることも事実です。これらはできるだけ改修を行い、学生が快適にのびのびと勉学に励むことができるように環境整備を進めているところです。その一環として、本年度は工学分館のトイレが全面改修されることになっています。蔵書の整理や時代に即した新書の購入など、図書の充実に向けて工学分館職員一丸となり鋭意努力しているところです。

学生諸君には、これからも工学分館を大いに活用し、勉学に励んで欲しいと思います。また教職員の方々には、工学分館の運営に関して、これまでと同様に変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

工学分館長 高橋 弘
(環境科学研究科・教授)